

《遊ぶブットーたち》
スケッチャ
1450-70年
個人蔵、モレッティ・ファインアート・リミテッド寄託
直径63.5cm
テンペラ/板
PRIVATE COLLECTION,
COURTESY OF
MORETTI FINE ART LTD.

ルネサンス



古代

《ブットーとガチョウ》

1世紀半ば
ヴァチカン美術館蔵
61×63×44cm
大理石
Musei Vaticani,
Città del Vaticano



古代より受け継がれた理想の身体



古代

《ヘラクレス》

フィレンツェ国立考古学博物館蔵
高さ48cm
大理石
Su concessione del Ministero dei Beni e delle
Attività Culturali e del Turismo -
Polo Museale della Toscana - Firenze



ルネサンス

《聖セバスティアヌス》

マリOTT・アルベルティネリ
1509-10年
個人蔵
130.5×45.6cm
油彩/板

ミケランジェロを頂点とするルネサンス美術の源は、古代ギリシャ・ローマ彫刻だ。古代ギリシャでは、人体の理想像は男性の裸体彫刻を通して表された。ここに男性美に注目する大きな理由がある。本展では、子供と青年、アスリートと戦士などの切り口で古代ギリシャ・ローマとルネサンスに追求された男性美、理想の身体を紹介する。

「神のごとき」と称えられた
史上最高の芸術家。

ミケランジェロの
奇跡の生誕地
「フィレンツェ」
を
「ミケランジェロの生誕地」
として
「ミケランジェロの生誕地」
として
「ミケランジェロの生誕地」
として

Michelangelo
and the Ideal Body

展覧会公式キャラクター

「ミケニャンジェロ」(通称:ミケにゃん)

漫画家・そにしけんじさんによる、彫刻家志望のミケ猫です。ミケランジェロ爺さん(通称:ミケ爺)に弟子入りしたミケにゃんが、ゆるゆると彫刻制作に励みます。



展覧会場でミケにゃんグッズも販売!

ミケにゃんのかわいいアクリルキーホルダーやロールふせん等のオリジナルグッズを会場限定で販売します。
※画像はイメージです。デザインは変更となる場合があります。



ミケニャンジェロ
アクリルキーホルダー
2種類 756円(税込)

ミケニャンジェロ
ロールふせん
1種類 500円(税込)

そのほかのミケにゃんグッズの詳細は、随時展覧会公式サイトで発表します。

関連講演会

- 6月19日(火)
午後2時~3時30分
ルドヴィカ・セフレコンディ
(本展監修者・美術史家)
- 8月11日(土・祝)
午後2時~3時30分
青柳正規
(山梨県立美術館 館長・
東京大学名誉教授)
- 9月8日(土)
午後2時~3時30分
飯塚隆
(本展監修者・
国立西洋美術館主任研究員)

【会場】 国立西洋美術館講堂(地下2階)
【定員】 各回先着130名
※聴講無料。ただし、聴講券と本展の観覧券(半券可)が必要です。
【参加方法】 当日正午より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき1枚聴講券を配付します。会場へは開演の30分前からご入場いただけます(整理番号順)。
※講演会のタイトル、内容等は展覧会公式サイトでお知らせします。

スライドトーク

展覧会のみどころや主な作品について、スライドを使って解説します。
7月6日(金)、8月17日(金)、9月14日(金) 各回午後6時~(約30分)

【会場】 国立西洋美術館講堂(地下2階)
【解説者】 飯塚隆(本展監修者・国立西洋美術館主任研究員)
【定員】 各回先着130名 ※聴講無料。ただし、本展の観覧券(半券可)が必要です。
【参加方法】 直接講堂にお越しください。 ※開場時間は各日とも開演の30分前。

音声ガイドナビゲーター



安元洋貴さん(声優)

ミケランジェロの残した言葉、エピソードを織り交せてご案内。ミケランジェロが彫刻で追い求めた身体表現の真髓に迫ります。

貸出価格:1台520円(税込)

観覧料(税込)	一般	大学生	高校生
当日	1,600円	1,200円	800円
前売/団体	1,400円	1,000円	600円

※団体は20名以上。※前売券は2018年6月18日(月)まで、展覧会公式サイト、主要プレイガイドにて販売。国立西洋美術館では、開館日のみ、2018年6月17日(日)まで販売。手数料がかかる場合があります。※中学生以下は無料。※心身に障害のある方および付添者1名は無料(入館の際に障害者手帳をご提示ください)。

企画チケットなど最新の情報は展覧会公式サイトをご確認ください。

国立西洋美術館
The National Museum of Western Art
[東京 上野公園]

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
http://www.nmwa.go.jp/

- ・JR上野駅下車(公園口) 徒歩1分
- ・京成電鉄京成上野駅下車 徒歩7分
- ・東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅下車 徒歩8分
- ※美術館に駐車場はございません。



ミケにゃんが
つぶやく
展覧会公式Twitter

見てにゃ

@miche_body

展覧会お問い合わせ 03-5777-8600[ハローダイヤル]

展覧会公式サイト <https://artexhibition.jp/michelangelo2018/>

美術展ナビ
Art Exhibition JAPAN
美術展の最新情報/ソクソク更新中

ミケランジェロと理想の身体

2018.6.19(火) — 9.24(月・休)

国立西洋美術館
The National Museum of Western Art

東京
上野公園

◎開館時間:午前9時30分~午後5時30分(金、土曜日は午後9時まで) ※入館は閉館の30分前まで◎休館日:月曜日、7月17日(火)
※ただし、7月16日(月・祝)、8月13日(月)、9月17日(月・祝)、9月24日(月・休)は開館◎主催:国立西洋美術館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社◎後援:外務省、イタリア大使館◎協賛:大日本印刷◎協力:アリタリア-イタリア航空、日本貨物航空、西洋美術振興財団
《タヴィエラ・ボロ》(部分) ミケランジェロ・フオナローティ 1530年頃 フィレンツェ、バルジェッロ国立美術館蔵 高さ147cm 大理石 Firenze, Museo Nazionale del Bargello / On concession of the Ministry of cultural heritage and tourism activities.

空前絶後！世界に約40点しか現存しないミケランジェロの大理石彫刻から、傑作2点が初来日

あの「ダヴィデ像」を超えた？

《ダヴィデ=アポロ》

ミケランジェロ・ブオナローティ
1530年頃
フィレンツェ、バルジェッロ国立美術館蔵
高さ147cm
大理石

Firenze, Museo Nazionale del Bargello
On concession of the Ministry of
cultural heritage and tourism activities.

ミケランジェロ
壮年期の傑作



力強さと気品、
躍動感と安らぎ、
清らかさと色香——

その完全なる調和は、
ミケランジェロが
50代半ばを過ぎて
ようやくたどりついた
美の境地だ。

聖書の英雄ダヴィデか、ギリシャの神アポロか。未完ゆえに作品の主題でさえ謎に包まれ、同時に、表面を滑らかに仕上げずに残されたノミ跡がミケランジェロの生々しい制作過程を伝える。

20代の傑作「ダヴィデ像」の制作から約25年を経て、古代彫刻の美を昇華させたミケランジェロ独自のスタイル。真のミケランジェロ芸術を伝える傑作が、初めて日本へやってくる。



背負うのは、ダヴィデの投石器か、アポロの矢筒か。飛び道具の正体は、ミケランジェロによって大理石の内に謎として残された。

約500年の時を経て、日本で再会
同じ人物が所蔵していた作品が、

幼さを残しながらも、
大人への成熟を
予感させる肉体の生命力——

サン・ピエトロ大聖堂の「ピエタ」で
世にその名を知らしめる数年前、
20歳を過ぎたばかりの
ミケランジェロが
早熟な天才ぶりを発揮した作品。

このヨハネの姿は、システーナ礼拝堂天井画の「アゾルとサドク」のルネッタ左端に描かれた少年にとてもよく似ている。この少年はあたかも、ウベダのヨハネの彫刻をそのまま絵画にしたかのようなのである。

20世紀前半、不運にもスペイン内戦によって大きな被害をうけたが、長年にわたる修復でよみがえった。

修復後、スペインとイタリアで2回しか公開されていない傑作が、早くも日本へやってくる。



内戦後、残されたわずか14の石片（本来の姿の約40%）から復元が行われた。

Su concessione del Ministero per i Beni e le Attività Culturali e del Turismo - Opificio delle Pietre Dure di Firenze, Archivio del Restauri e Fotografico



《若き洗礼者ヨハネ》

ミケランジェロ・ブオナローティ
1495-96年
ウベダ、エル・サルバドル聖堂／ハエン（スペイン）、
メディナセリ公爵家財団法人蔵
高さ130cm
大理石

Úbeda, Capilla del Salvador;
Jaén(Spain), Fundación Casa Ducal de Medinaceli
Su concessione del Ministero per i
Beni e le Attività Culturali e del
Turismo - Opificio delle Pietre Dure di Firenze

ミケランジェロ
初期の傑作



イタリア・ルネサンスの巨匠 ミケランジェロ・ブオナローティ (1475-1564)

彫刻、絵画、建築の各分野で傑出した作品を残したが、ミケランジェロ自身は自らを「彫刻家」と呼んだ。

システーナ礼拝堂の天井画について、「天井画は私の本業ではないので、時間の浪費です」と父親への手紙に記し、「我は画家にあらず」という心の深い悲しみをうたった詩を友人に書き送っていることからわかるとおり、ミケランジェロ芸術の神髄は彫刻にある。

《ミケランジェロの肖像》 パッシニャーノ 17世紀初頭 個人蔵 120.5×95.5cm 油彩／カンヴァス

ラオコーン —古代作品がルネサンスに与えた衝撃—

1506年に発見された古代彫刻の傑作ラオコーン像が発見された時、ミケランジェロは現場に呼び寄せられ、その像を実際に目にした。その後まもなく描かれたデッサンと、ほぼ原寸大の大理石による模刻から、オリジナル作品がルネサンスの芸術家に与えた衝撃の大きさが伝わってくる。



左《ラオコーン》
マルコ・ダ・ラウエンナ
1520-1525年頃
フィレンツェ、
ウフィツィ美術館版画素描室蔵
47.6×32.2cm
エングレービング
Gallerie degli Uffizi,
Gabinetto Disegni e delle
Stampe / Su concessione
del Ministero dei Beni e
delle Attività Culturali e
del Turismo



右《ラオコーン》
ヴィンチェンゾ・デ・ロッシ
1584年頃 ローマ、個人蔵、
ガッレリア・ディ・
ラオコーネ寄託
191×145×68cm
大理石
Rome, Private Collection,
Courtesy Galleria del Laocöone
D'Appollonio Photography

ミケランジェロの様式 —新しい美の規範—

ミケランジェロは、生前からヨーロッパ中で名を知られた天才だった。古代の伝統を吸収し、肉感ある「動き」と感情表現をとり入れたミケランジェロ独自の様式は、古代から追求され続けた「理想の身体」の到達点として、当時から多くの芸術家に影響を与えた。ミケランジェロ作品を熱心に模倣したといわれるパッティスタ・フランコの素描には、ミケランジェロの素描との共通点が多く見出される。《磔にされた罪人》は、ミケランジェロの《フィレンツェのピエタ》（バンディーニのピエタとも呼ばれる）のキリスト像との類似性が指摘されている。

《男性頭部の習作》
パッティスタ・フランコ 1556-57年
フィレンツェ、ホーン美術館蔵 20.8×18.1cm
黒の石黒、白チョーク/白色の紙
Firenze, Museo Horne



《磔にされた罪人》
ミケランジェロ周辺の芸術家 1550年頃
フィレンツェ、ステファノ・バルディーニ美術館蔵
26.8×35cm フロンズ
Musei Civili Fiorentini - Museo Stefano Bardini

